



多様な人々と力を合わせ、  
世界に誇れる美しい  
街づくりをめざします。

## 数多くの受賞を果たす イケ・サンパーク



1

活動時期 2020年12月～2022年9月

活動場所 としまどりの防災公園 愛称：イケ・サンパーク（東京都豊島区東池袋）

2018年1月に日比谷アメニス代表企業として事業者を選定された、「としまどりの防災公園（愛称：イケ・サンパーク）」は改正後間もない都市公園法のP-PFI制度適用となる豊島区の都市公園整備事業で、設計施工から管理運営、P-PFIまでを一体的に行う事業として豊島区およびURからの発注となりました。2020年12月の公園全面オープン以降、多くの来園者を迎えるとともに、数多くの賞も受賞することができましたのでここに紹介します。

### 活動の目的

P-PFIの先駆的事業として、「公園が街を変える」のコンセプトに合致するような私たちの実施する公園の設計・整備・管理運営内容について、公的な機関による客観的な評価を得ることで、他事業への参画の自信を得るとともに、公園の存在や価値を広く認知してもらうことを目指しています。

### 取り組み・成果

豊島区、UR、日比谷アメニスコンソーシアムなどとともに、以下を受賞しています。  
・令和3年度土地利用モデル大賞（審査委員長賞）：（一財）都市みらい推進機構  
・グリーンインフラ大賞（優秀賞）：グリーンインフラ官民連携プラットフォーム  
・グッドデザイン賞：（公財）日本デザイン振興会  
・都市公園等コンクール管理運営部門（国土交通大臣賞）：（一社）日本公園緑地協会

### 今後の目標・課題

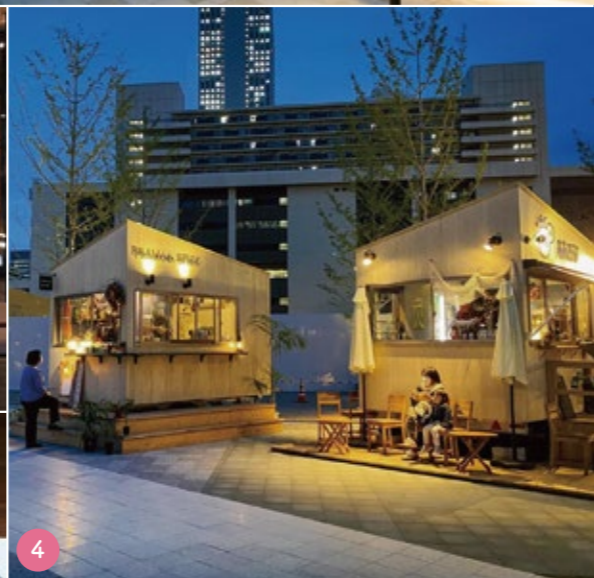
都市公園法に基づくP-PFI制度の先駆的事例として世間の注目を集めてきましたが、公的機関による客観的な判断（受賞）を多く得られたことで自信につながるとともに、現在は20年間の管理運営（指定管理）段階に入っており、エリアマネジメントをはじめとして、公園の管理運営についても先駆的な存在であり続けるよう、創意工夫が欠かせないと考えています。



2



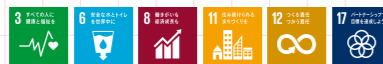
3



4

**IKE・SUN PARK**  
イケ・サンパーク

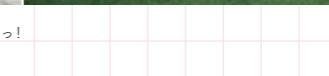
1 公園内の風景 2 公園内レストラン内観 3 レストランから公園（芝生広場）方向 4 KOTO-PORT（コトポート）の様子



1



2



3

1 うめきた公園のガーデンをイメージした人気投票を開催 2 お気に入りのカラーにシールをばちっ！  
3 ガーデンの植物を剪定して草木染体験！模様はうまくできたかな？

## Challenge Garden 交流から生まれる"うめきた"のみどり

活動時期 2022年4月～2023年3月

活動場所 うめきた外庭 SQUARE（大阪府北区中津）

2024年の夏、大阪梅田の街に新たな都市公園がオープンします。私たちはそのうめきた公園（仮称）で植物がいきいきと美しく育ち、より良いみどりの空間づくりにつなげるため、植物の生育状態を観察・評価するための実証実験を行っています。また、うめきた公園に向けた実証実験場である「うめきた外庭 SQUARE」利用者との交流の一環として、ガーデンガイドや園芸ワークショップ等のイベントを開催しています。

### 活動の目的

公園では在来種が多く植栽される予定ですが、都心部の環境では管理が難しいものもあります。本実験で適切な管理方法を検証し、うめきた公園でより美しい景観形成を目指します。また、本ガーデンを通した利用者コミュニケーションの中で公園を知ってもらうと共に、期待に胸を膨らましてもらうことを目的としています。

### 取り組み・成果

ガーデンでは2種類の土壌を利用するなど、生育状況を観察しています。また、うめきた公園のガーデンを想像して人気投票を実施し、小さなお子様でも公園に興味を持っていただく交流ができました。参加された方からも将来うめきた公園でやりたいことを聞いたり、完成を楽しみにするお声もいただいています。

### 今後の目標・課題

これからは本ガーデン Instagram (@challengegarden\_sotoniwa)を中心に、より積極的な情報発信をしていきます。また、本実験を通して、梅田の街を訪れる人たちがもっと梅田が好きになり、近隣に住む人たちの豊かな暮らしを支えていければと思います。

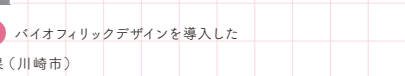
活動実施会社 うめきた外庭 SQUARE 運営事務局  
（株式会社日比谷アメニス、他）



1



2



3

1 バイオフィリックデザインを広く一般の方に普及するための展示区画（昭和三十九公園） 2 バイオフィリックデザインを導入した執務スペース（川崎市） 3 執務スペースに植栽や音響を設置することによって得られた効果（川崎市）

## バイオフィリックデザイン実証実験による 「みどりの価値の追求」

活動時期 2022年1月～2022年3月

活動場所 昭和三十九公園（東京都立川市・昭島市）、川崎市庁舎（神奈川県川崎市）

「人間には"自然とつながりたい"という本能的欲求がある」というバイオフィリアの概念に基づいた空間デザインをバイオフィリックデザインといいます。グローバルでは植物がもつ癒しやリラックス効果、環境啓発などのみどりの価値を活かした独自のバイオフィリックデザインを確立していきたいと考えており、公益財団法人都市緑化機構と川崎市で開催された2つの『バイオフィリックデザイン』に関する実証実験に参加しました。

### 活動の目的

みどりの価値を活かしたグローバル独自のバイオフィリックデザインを確立していくために、自然と人に関する様々な調査・分析を行い、顧客へ訴求できるエビデンスを蓄積することを目指しています。

### 取り組み・成果

昭和三十九公園では都市緑化機構主催の「ニューノーマルに対応した新しい緑地環境活用に関する調査」に参加し、公園でのリモートワークの可能性について検証しました。川崎市では「バイオフィリックデザインの活用に向けた実証実験」に参加し、オフィス緑化の効果検証を行いました。

### 今後の目標・課題

グローバルでは、独自のバイオフィリックデザインの推進を事業戦略としています。植物をはじめとした自然の有効性を活かし、人々が心身共に健康に暮らしていける Well-Being の要素を付加した独自のバイオフィリックデザインを確立していきたいです。

活動実施会社 株式会社グローバル

